

事業所名 グループホーム リーブガーデン

日付 平成 21 年 6 月 9 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

リーブガーデンは国道からほど近い市街化する都市近郊にあって、農村の風情を色濃く残したオアシスのような一画にある。緑が多く、中庭には珍しい小鳥たちが遊びに来る。施設はモダンな平屋で「く」の字型の建物は、中央のホールから両方に伸びた2つのユニットが見通せる、死角を無くした構造である。

入居者の方が一日の大部分を過ごす居間はゆとりある広さで吹き抜けの高い天井は開放感を感じさせる。大きな透明の一枚ガラスを用いた玄関ドアや居間の窓からは外の景色がよく見え、閉塞感を感じさせない。どうすれば入居者の方が居心地よく過ごせるのか、入居者の気持ちになって、また、職員が使いやすいように、そして、施設長のこだわりを十分生かしながら、建てられたものであることが見てとれる。管理者が地元出身ということもあって、地域からの応援もあり、入居者も地域に馴染んでいるようである。

職員は入居者の特徴をよく理解し、個人の尊厳を大切にしながら入居者と共に生活するように接している。職員同士もそれぞれの判断力を尊重しているので、信頼関係も良好で、気さくに話し合っ問題解決に努めている。そのようなことから、入居者の日課は予め決められることなく、職員がその日の入居者の状態に即した活動を発想し、入居者が主体的に行動することで、入居者は自然に家庭的な雰囲気を感じていて、職員はできるだけその見守りを中心に支援しているようである。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

ホームの理念・意義を地域の人々へ一層浸透させるために、運営推進会議には地域の教育現場の人達など、幅広い分野の人達にも参加してもらう必要があるのではないか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者のその時々々の気持ちを的確に捉え、刻々と変化する入居者のニーズに合わせた対応ができ、そして入居者が自分のペースでゆっくり過ごすことができるグループホームをめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者は一人ひとり状態も要望も違うので、いつ何をするか日課を定めない方針である。また、帰宅願望を静めるために、入居者へ否定的な言葉を使うことなく、散歩やドライブに行くことで気持ちを落ち着かせたり、時に職員が家族と電話で会話する演技をしたりするなど、入居者の心象に寄り添ったケアに努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	具体的な日課を定めることなく、入居者一人ひとりに応じた個別の対応を心掛けている。職員の個性を大切に、職員の得意なことを引き出し、ケアサービスの向上に取り組んでいる。また、職員は入居者の特徴や健康状態を把握するため、職員間の報告、連絡を大切にしている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員は日頃から気持ちの余裕を大切にしながら、入居者の希望に添うようにしている。何かあった時、家族に報告ができないと困るので、職員同士がよく連絡し合い、常に入居者の状態を把握するよう努めている。		